

# 全国特定地域づくり探訪

●村の移住定住施策と事業者の思い・課題が合致し地域産業の担い手確保を実現

## 事業協同組合かわかみワーク

住所 〒639-3553 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の17

設立 令和3年1月

認定 令和3年2月

組合員数 14名(令和5年3月時点)

出資1口の金額 14万円(1口1万円)

組合員の業種 介護福祉、宿泊観光、移動販売、ガソリンスタンド、林業、家具製造、金属加工、商工会など

### 背景と目的

川上村役場では、平成25年から「移住」「定住」を重点施策とし、職の相談から住居の紹介まで、暮らしを総合サポートする「川上ing作戦」を実施してきた。一方で、村内の林商工業者を対象に、事業所経営の現状と課題、今後についてアンケートを実施したところ、6割が「事業拡大・維持したい」と回答し、その中のさらに8割が人材確保・後継者不在を課題とする回答があった。村内にはまだまだ働く場が存在するので、求人に見える化を行い、求職者と事業者のマッチングを行う必要があることが分かった。

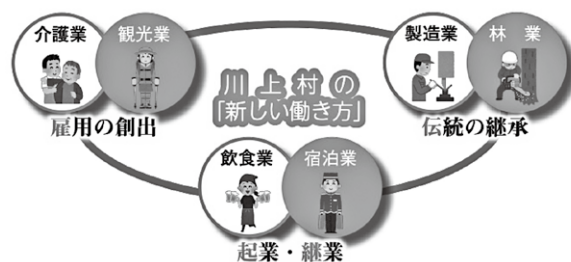
### 取り組みの手法と内容

川上村では、特定地域づくり事業協同組合の設立に向け、まずは発起人の確保のために制度説明を行い、特定の事業者のみの利益にならないように配慮した。また、上記アンケートの結果や商工会の協力により組合員の募集を行った。事務局は経費削減の観点から兼務の形で事務局長1名、事務局職員2名を確保し、事務所は村所有の労働会館の一室を利用している。

令和3年4月より事業を開始し、2年間で6名を雇用、6事業者へ派遣した(うち4名は移住者)。組合員の利用料は地域内のパート・アルバイトの時給額から一律1時間当たり950円と設定し、今後、派遣職員の能力・派遣業務に応じて変動予定。職員の給与は労使協定方式を採用して各種手当や保険を整えている。派遣職員は契約期間を最長3か月とし、月1度のヒアリングを行うことで、各自に合った働き方の構築を可能としている。

### 成果とその要因

季節や週・月、事業者・働き手双方の思いに応じたダブルワークやワークシェアなど、新しい働き方を提案することができた。特に20~40歳代の生産年齢からマルチワークについて好反応がある。これは村内求人需要の情報窓口として機能したためであり、働く場の掘り起こし・見える化により、村内にまだまだ働く場があることを証明することができた。



※本事例は滋賀県中央会オンライン研修動画でも紹介しています。  
<https://chuokai-shiga.or.jp/online-training/39957/>



かわかみワーク  
KAWAKAMI WORK



webサイトTopページ

組合URL

<https://kawakamiwork.com/>

